

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	仙台市		
事業所の名称	仙台市 環境局 施設部 今泉工場		
事業所の所在地	仙台市若林区今泉字上新田103		
主たる事業	廃棄物処理業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>当工場は、地球環境の保全に貢献するために、以下の方針に基づきエネルギー使用量等の削減に努めます。</p> <p>1.環境負荷を最小限になる工場運営を行います。 2.環境保全に関連する法規制を遵守します。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	31,609 t-CO ₂	基準原単位	0.4003	
	目標年度	2022年度	目標排出量	41,900 t-CO ₂	目標原単位	0.434	
温室効果ガスの排出状況	削減率			-32.56 %	削減率	-8.42 %	
		第1年度	2020年度	排出量	27,679 t-CO ₂	排出原単位	0.4944
	排出量等の増減理由			削減率	12.43 %	削減率	-23.51 %
		第1年度は、基幹改良工事に伴い焼却炉の稼働時間が短かった。そのため、CO ₂ の排出量が減少したと考えられる。稼働時間の減少の結果、原単位の指標となる燃料(焼却量)も減少し、原単位としての削減は目標達成することが出来なかった。					
	第2年度	2021年度	排出量	38,776 t-CO ₂	排出原単位	0.4892	
			削減率	-22.68 %	削減率	-22.21 %	
	排出量等の増減理由	2019年度および2020年度共に基幹改良工事があり、焼却炉の稼働時間が短いため、CO ₂ 排出量が減少している。そのため、基幹改良工事終了後の2021年度は、排出量等が増加し、削減率について減少となった。					
		第3年度	2022年度	排出量	41,935 t-CO ₂	排出原単位	0.4574
削減率	-32.67 %			削減率	-14.27 %		
排出量等の増減理由	2022年度は、他工場のオーバーホール等の影響で、ごみの搬入量、焼却量が増加し、排出量等が増加となり、削減率について減少となった。						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	61 %	目標年度	64 %
	第1年度	61 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施されている。
	第2年度	68 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施されている。
	第3年度	96 %	実施状況の説明等	計画書に記載したものを一部見直し対策を施した。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		一部実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		一部実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境教育・学習の実施(従業員以外を対象にしたもの)	小学生・町内会のゴミ処理を通しての環境学習	実施済
	廃棄物削減対策の実施	雑誌・紙類・資源ごみ等の分別の徹底	実施済
	グリーン調達の実施	仙台市グリーン購入基本法方針に基づいて実施	実施済